

令和6年度事業報告

1. 事業概況報告

令和7年3月、第35期生53名（累計2,591名）が実社会へ巣立ちました。

第35期生の就職活動は、オンラインを有効活用し、企業説明会等を開催いたしました。また、関係各位のご支援の下、教職員・学生が大きく緊張感を持って取り組んだ結果、**就職率は100%**（昨年実績99%）となりました。

令和6年度の学生募集活動（令和7年4月入学者）は、最重点事項として取り組み、esportsクリエイト専攻を前面にPRすると共に、高校訪問活動や各種進路ガイダンスへの積極的な参加する等、全力で施策を実施致しましたが、**令和7年4月の入学生は、定員の60名を17名下回る43名**と（前年度比△22名）となりました。（長期高度人材育成コース情報処理技能者養成科3名を含む）

情報処理国家試験（基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験）をはじめ各種資格試験では、高い取得率を維持することができました。主たる目標としている情報処理国家試験の基本情報技術者試験では、31名の合格者となりました。

なお、2年生の取得率は**51%**となりました。

教育設備面では、厚生労働省の全額支援により令和6年4月に導入した、PCや3Dプリンター、VR等の教育訓練機器を活用し、授業の魅力向上に努めました。

（1）指導状況について

ア. 学生の基礎学力の向上や学力格差是正への対応及びICTスキル向上と就職指導の強化を目標に、人材育成に取り組みました。

また、学生のモチベーションを保ちつつ、各種検定試験に対して積極的なチャレンジを促し、学生に自信を持たせるとともに、検定対策授業の実施により資格取得率・合格率の向上に努めました。

イ. この1年間の各種資格試験合格状況は、以下のとおりでした。（令和6年度在籍者数115名）

資格試験名	受験者数(a)	合格者数(b)	合格率(b)/(a)
応用情報技術者試験	40	2	5%
基本情報技術者試験	135	31	23%
情報セキュリティマネジメント試験	26	3	12%
日商PC検定(文書作成)2級	23	23	100%
日商PC検定(文書作成)3級	58	58	100%
日商PC検定(データ活用)2級	23	23	100%
日商PC検定(データ活用)3級	57	57	100%
日商電子会計実務検定	23	22	96%

また、国家試験午前免除認定校として、基本情報技術者試験の免除対象科目履修講座を終え、修了認定試験に合格した学生は、受験者62名に対し61名（合格率98%）でした。

なお、第35期生（令和7年3月卒）の在学中（令和5年4月～令和7年3月）における各種資格試験の取得状況は、以下のとおりでした。

資格試験名	取得者数(a)	取得率((a)/53)※
応用情報技術者試験	2	4%
基本情報技術者試験	27	51%
情報セキュリティマネジメント試験	3	6%
日商PC検定(文書作成)2級	22	42%
日商PC検定(文書作成)3級	52	98%
日商PC検定(データ活用)2級	22	42%
日商PC検定(データ活用)3級	52	98%
日商電子会計実務検定	22	42%

※第35期生卒業生数53名

ウ. 7月の日帰り遠足、9月のスポーツ大会、10月の学園祭等の学校行事のほか、4月と9月の荒川小学校の通学路清掃、5月と12月の献血などの奉仕活動も行いました。

また、学園祭では今年度もチャリティバザー等の売上金139,293円を青森市社会福祉協議会へ寄付しました。これらを通して、学生の自主性、社会性の涵養に努めました。

エ. ACCFITA2024を8月30日（金）に校内にてハイブリッド開催しました。後日、YouTubeに配信し、県内高校等への認知度向上と学生の起業家精神を育む指導を行いました。

また、青森市学生ビジネスアイデアコンテスト「Aomori Business Challenge GATE」では、本校代表チームが他の大学生もエントリーする中、自分たちのアイデアを堂々と発表しました。

オ. 夏、冬の2回、外部講師による交通安全教室の開催、登下校時の交通安全指導、保護者の会による交通安全標語の募集など安全意識の高揚に努めました。その結果大きな事故のない一年でした。

また、礼儀作法や言葉遣い等の社会的マナーについては、授業の中にとり入れているほか、登校時の挨拶指導も行いました。さらに面接試験時のマナーやビジネスマナーの指導も徹底して行い、就職率向上に努めました。

カ. 全国コンピュータ・カレッジ姉妹校（青森、北上、いわき、いさはや）による「全国卒業研究発表会」をオンラインで実施し、各校で実施された卒業研究発表会の内容を共有し、内容を確認しました。

キ. 令和6年度の教職員の総人員は18名（内非常勤講師5名）体制で運営いたしました。（前年度比△1名）

(2) 学生募集活動状況について

第37期生（令和7年4月入学）の学生募集については、高校校長OBの学生募集員を中心に、esports クリエイト専攻と専任講師（プロeスポーツストリーマー）の授業と、強化したWEB系授業を前面に、カレッジ校長はじめ常勤職員による高校個別訪問を行い、高校へのPR、信頼関係強化に努めたほか、高校での進路説明会に参加し、高校生本人への接触機会拡大にも積極的に取り組みました。

また、1月には学生が主体となってesports大会（オンライン大会）を開催し、YouTubeによる配信では視聴回数累計243件（令和7年5月末時点）となり、情報発信の強化に努めました。

更に、進路指導教諭への本校説明会（オンライン開催）、在校生に加え卒業生から後輩（高校生）へのメッセージや、一部高校生への体験授業・情報科目の授業等通じて、高校や高校生とのパイプ作りのための施策を実施しました。

年内に実施した学校推薦・自己推薦入試の応募者は前年を14名下回る33名（内入学者33名）となりました。また、年明けに実施した一般入試の応募者は、前年を4名下回る10名（内入学者7名）となりました。

なお、青森県立青森高等技術専門校から委託された、情報処理技能者養成科3名（前年度比△2名）の入学者を受け入れ、全体での入学者数は43名（前年度比△22名）となりました。

(3) 就職活動状況について

ア. 就職活動全般について指導を強化するとともに、学生には主体的に考え、積極的に発言する姿勢を身に付けさせ、責任ある行動がとれる「社会に通用する元気の良い」人材の育成に努めました。

また、オンラインを積極的に活用した就職活動（会社説明会等）を展開しました。

イ. この結果、県内外80社（対前年比△1社）から139名（対前年比△1名）の求人があり、29社に**52名（100%）が就職**し、そのうち**21名（40%）が情報処理企業**に決まりました。なお、**青森県内には44名（85%）が就職**しました。

(4) 財務状況について

令和6年度の経常収益は、教育訓練機器の新規リース開始に伴う受取補助金の増加等により、130,699千円（前年度比+12,263千円）となりました。

一方、経常費用は、減少要因として教員の退職、定年退職者の再雇用移行に伴う人件費の減少があったものの、増加要因として新教育訓練機器の5年リース開始に伴う減価償却費の増加（うち、新規リース開始に伴う経常費用の増加は+19,594千円）や物件費の高騰等により、合計で132,827千円（前年度比+19,210千円）となり、当期経常増減額は、△2,128千円（前年度比△6,947千円）の赤字となりました。

(5) カレッジの今後に向けた取り組みについて

令和7年度は、魅力的なカリキュラムの更なる構築とPRの強化、新たにDMや卒業生ネットワークを活用したPR活動を強化します。

また、Webデザイナー・Webエンジニア向けカリキュラムや、esportsクリエイト専攻の更なる魅力向上を図り、あおりコンピュータ・カレッジの広報用インタラクティブ動画や、esports大会のWeb配信、パブリシティの活用などを通して魅力の発信強化に努め、経営戦略プランで掲げた入学生62名の確保を目標に、財務基盤の確保に努めます。

- Web関連の教科を充実させ魅力的なカリキュラムの構築とPR
- AIを活用した授業の取組みとPRの実施
- esportsクリエイト専攻の魅力のPR
- 広報用インタラクティブ動画のWeb上での公開
- esports大会の開催等を通じた情報発信の強化
- 専門業者のDMを活用した高校生への直接PRの強化
- 物件費の適正な執行と予算管理の徹底

今後とも皆様のさらなる御指導、御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。